

ご挨拶

全国上下水道コンサルタント協会は、平成 30 年 4 月 1 日より一般社団法人から公益社団法人へ移行し、新たな一步を踏み出すこととなりました。

移行の背景には、我が国の上下水道事業が『管理・運営の時代』に入り、包括的な民間活用の流れなど事業執行のあり方が多様化する中で、水コンサルタントの役割や責任にも変化が必要とされていることが挙げられます。こうした状況への対応として、既に当協会は、平成 27 年に『AWSCJ Vision 2015-2025』を公表し、「多様な官民協働の促進」を標榜して参りました。

上下水道事業の継続・発展に貢献する水コンサルタントであり続けるためには、自らも社会の変化に対応した改革が必要であり、水コンサルタントが新たな事業領域に取り組むためには、これまでの技術力の更なる蓄積・向上に加えて、異分野の技術・知識の習得、様々な業種間の連携・枠組みの形成、コンサルタント技術者の確保・地位向上などの活動が重要と認識しております。

その実現に向けて、当協会の社会的信頼性とプレゼンスを高めることが不可欠と判断し、内閣府からの認定を得て公益社団法人に移行することとしました。

今後は公益法人としての社会的責任を意識し、協会活動の基本方針を次のとおり定め、様々な活動の強化を図って参ります。

1. 『業界の発展』から『職業の発展』へと目指す方向を拡大し、上下水道事業を通じて社会公共福祉の増進に貢献する。
2. 上下水道コンサルタントの健全な発展に必要な環境整備・人材育成、業務遂行における技術・倫理などの様々な基盤の確立と向上を図る。
3. 上下水道事業の今日的・中長期的な課題の解決に向けて、事業の全般に関与する上下水道コンサルタントが果たすべき役割・責任を自覚し、公正な立場で様々な関係者との協議・連携を強化する。

関係者の皆様には、これまで同様、当協会の活動にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 4 月 1 日
公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会
会長 野村 喜一